

2021年度



教育長だより

生駒市教育委員会事務局
生駒市東新町8番38号
TEL: 0743-74-1111(代)
文責: 原井葉子

☆ コロナ禍における園・学校対応について

新学期が始まると同時に、オミクロン株による新型コロナウイルス感染が急拡大し、市内園・学校においても、感染者が急増している状況です。

陽性者が判明次第、園・学校では行動記録や名簿を作成し、濃厚接触者の特定や休業措置について市教育委員会・保健所と協議、判断をしていきますが、業務が逼迫し、大変時間がかかるため、該当学級の児童生徒やそのご家族の行動制限が長引き、皆様には多大なご心労をおかけしています。調査や協議等、濃厚接触者の特定にかかる業務を関係機関で調整し、できるだけ早く判断、連絡ができるよう対応に努めてまいります。何卒ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

陽性者や濃厚接触者等で登校できない期間や臨時休業期間の学習は、オンラインを活用した授業の参加や課題の提示、提出等で、学びの保障を行っています。また、登校に不安のある場合も同様に対応し、出席停止扱いとします。各校にご相談ください。

3学期は期間も短く、年度内に全ての教育課程を修了するために、学校での対面による授業を継続していきたいと考えています。しかし、今後の感染拡大状況によっては、分散登校や家庭での一斉オンライン授業の実施も検討してまいります。重ねてご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

☆ 端末、オンラインを活用した授業

1月25日に、生駒北小学校と俵口小学校の6年生が合同で、「世界を知る」をテーマに、総合的な学習に取り組みました。最初に、各学級で「ほぼ日のアースボール」を使った調べ学習を行いました。このアースボールは、端末をかざすと世界の国々の様々な情報が得られる地球儀です。子どもたちは、多様なコンテンツを使って、興味のあることを調べ、発表し合いました。



次に、カンボジアとナイジェリアでサッカークラブのオーナーをされている加藤明拓氏がオンラインで、これらの国の状況、ご自身の仕事や生き方、自分の「好き」なことで社会貢献ができることなど、映像を交えて両校の子どもたちに伝えてくださいました。↑

子どもたちは、熱心に話を聞き、質疑応答や2校間での意見交換を活発に行いました。コロナ禍で自宅にいる子どもも、端末を使って参加しました。子どもたちは、「違う学校の人の発表が聞いて良かった。また、やりたい」と、学校間の交流授業に大変意欲的でした。

2月には、生駒北・生駒南・生駒南第二小学校の3校で同様の交流学习を行い、さらに、生駒台小学校では、シンガポールの小学生と英語で交流する授業の準備を進めています。

一人一台の端末が配布されて、ちょうど一年が過ぎました。当初は、教員も子どもたちも戸惑いがありましたが、各学校では、教員が研修を重ねながら、様々な場面で端末を活用した授業づくりに取り組んでいます。

端末の活用の仕方として、

- 1 課題や資料の提示など、教員→児童生徒
 - 2 提出、評価など、教員⇄児童生徒
 - 3 書き込みや発表など、児童生徒⇄児童生徒
- があり、これらを組み合わせることで、一斉指導による学び、個別学習、協働学習それぞれの学習場面を相互に組み合わせた授業ができます。

一方で、SNSによるいじめ、個人情報の管理、サイトの制限などの課題もあります。学校と市教育委員会できっかりと状況を把握し、情報モラルの指導や環境の整備を進めていきたいと考えています。

現在、ICT支援員が各校を巡回し、授業のサポート、トラブルの対応、情報モラル教育の支援などを行っています。今後は、活用の成果を検証しながら、さらに、柔軟で創造的な教育活動の推進に取り組んでまいります。

